

滋賀県警察の組織機構等

- 定員
条例定員 2,581人（警察官2,282人、一般職員299人）
- 警察本部組織
32所属（警務部8所属、生活安全部7所属、刑事部7所属、交通部6所属、警備部3所属、警察学校）
- 警察署組織
12警察署（55交番、102駐在所）
- 平成31年度（令和元年度）当初予算
約312億円（内、人件費約240億円）

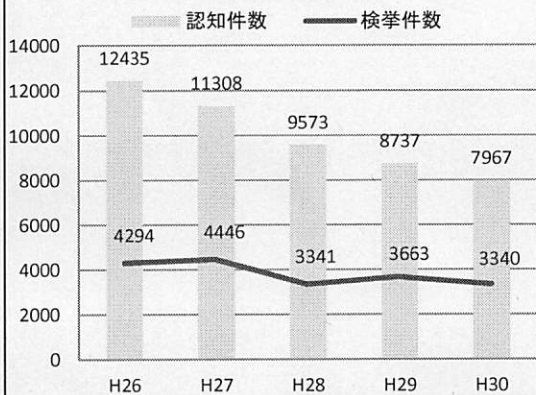


犯罪・事故の発生状況

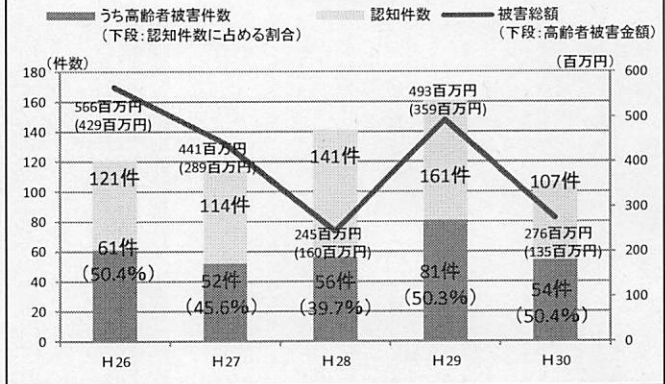
- 刑法犯認知件数
平成30年中 7,967件（前年比-8.8%）
平成31年4月末 2,156件（前年比-12.9%）
- 刑法犯検挙件数
平成30年中 3,340件（前年比-8.8%）
平成31年4月末 985件（前年比-11.4%）
- 交通事故発生件数
平成30年中 4,212件（前年比-13.6%）
平成31年4月末 1,237件（前年比-9.7%）

各種治安値数の推移

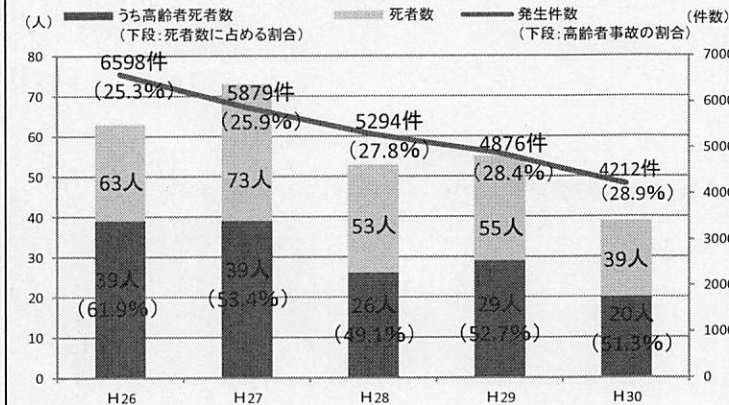
刑法犯認知件数の推移



特殊詐欺の推移



交通事故の推移

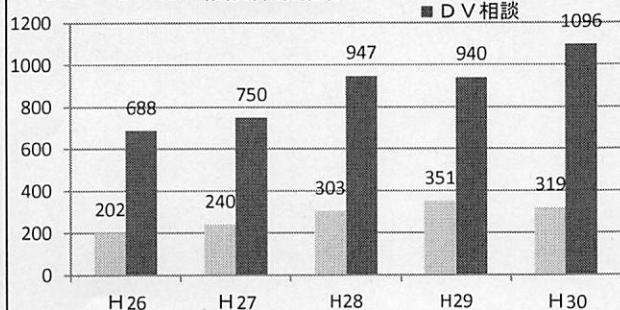


運転免許保有者数の推移

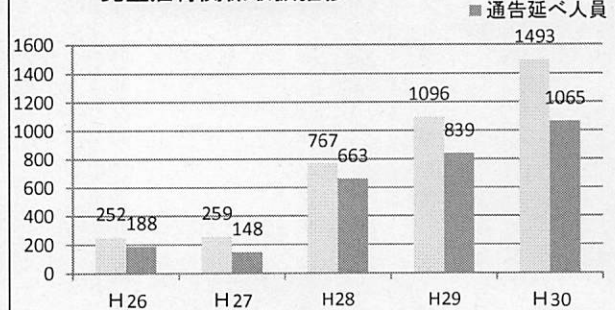
区分	運転免許保有者数		
	65歳以上	70歳以上	75歳以上
平成26年	955,332	189,168	108,056
平成27年	957,046	198,486	110,583
平成28年	959,629	206,739	114,995
平成29年	961,249	213,502	124,075
平成30年	963,565	219,416	134,678

(注) 年齢別の数は、「運転免許保有者数」の内数である。

ストーカー・DV相談件数推移



児童虐待関係取扱推移



令和元年度 主要施策

1 犯罪や事故から県民を守るための安全・安心な社会の実現

(1) 女性・子ども・高齢者を事件・事故から守る施策

主 な 事 業 内 容		
1	子ども安全対策事業【新規】	7,080千円
2	県民を特殊詐欺から守る安全安心コール事業	3,939千円
3	安全・安心なサイバー空間構築推進事業	1,781千円
4	高齢運転者安全・安心事業【新規】	1,588千円
5	犯罪被害者等への支援強化事業【拡充】	9,103千円

(2) 人員不足の補強と客観的証拠収集強化等のための装備資機材等の整備

主 な 事 業 内 容		
1	警ら用無線自動車等の更新整備	68,639千円
2	警察無線機の更新整備	211,823千円
3	スマートフォン解析各種資機材の整備	4,926千円
4	第44回全日本愛瓢会滋賀県彦根市大会対策	39,580千円

2 災害時等に県民の命を守るための警察基盤の充実・強化

主 な 事 業 内 容		
1	草津警察署の新築移転整備	99,772千円
2	運転免許センター新築整備	1,354,434千円
3	交番・駐在所新築整備	62,350千円
4	交通安全施設整備	632,358千円

警察官一人あたりの負担状況

	人口負担	全国 順位	刑法犯 認知件数	全国 順位	交通事故 (人傷)件数	全国 順位	110番 受理件数	全国 順位
滋賀県	622	2	3.5	12	1.8	14	44.4	5
京都府	390	46	2.6	24	0.9	39	35.0	17
大阪府	412	45	4.4	3	1.6	22	37.6	9
兵庫県	468	36	3.7	7	2.1	12	34.7	18
奈良県	552	19	3.1	16	1.6	21	30.6	26
和歌山県	447	43	2.2	33	1.0	37	27.2	33
近畿平均	442		3.8		1.6		36.0	
全国平均	491		3.1		1.7		35.2	

警察施設の状況

警察署等の状況

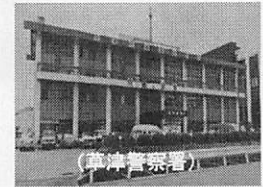
1. 運転免許センター（昭和42年度、築52年）

- ・ 平成30年度～令和2年度 建築工事
- ・ 令和2年5月 運用開始予定



2. 草津警察署（昭和44年度、築50年）

- ・ 令和元年度～3年度 建築工事
- ・ 令和3年秋頃 運用開始予定



3. その他警察署等

- | | |
|-----------------------|-----------------------|
| ○ 大津北警察署（昭和46年度、築48年） | ○ 高島警察署（昭和48年度、築46年） |
| ○ 交通機動隊（昭和40年度、築54年） | ○ 彦根警察署（昭和45年度、築49年） |
| ○ 木之本警察署（昭和47年度、築47年） | ○ 東近江警察署（昭和52年度、築42年） |
- 建物及び設備の著しい老朽化 ○ 職員数や業務量の増大、OA機器の導入等による狭隘化
 ○ 留置場や相談室等、必須施設の不足等 ○ 大津北・高島の両警察署は琵琶湖西岸断層帯による発災時、甚大な被害が予想

交番・駐在所の状況

- ・ 交番55箇所・駐在所102箇所等、計164箇所の庁舎
- ・ 平準化による更新を行わないと庁舎が老朽化していく一方

交通安全施設の状況

種類	信号制御機	信号灯器	信号柱
現存数	2334基	26005灯	9704本
更新基準年数超過	286基	6744灯	450本
更新基準年数超過率	12.3%	25.9%	4.6%
H31更新予定	83基	496灯	30本

対策 ～ 信号機マネジメント推進計画 ～

信号機マネジメント推進計画
に基づき必要性の低い信号機
の撤去を推進



ストック数の削減
維持管理費 削減



真に必要な
信号機を更新